

9/5 農業委員会が「令和5年度農業委員会優良活動表彰」を受賞

農業委員会が「令和5年度農業委員会優良活動表彰」を受賞し、市長に受賞の報告をしました。今回、農地利用の最適化などの積極的な取り組みが認められ、「遊休農地解消部門」での受賞となりました。内田会長と濱崎副会長は、「地元を把握した委員らのチームプレーが実ったもので、次世代の人たちに引き継いでいける農地を残していくためにも継続していきたい。」と話しました。



9/26 今年もおいしい梨ができました～荒尾梨品評会～

特産品である荒尾梨「新高」の品質向上とPRを行うため、JAたまなと荒尾梨部会はJAたまな荒尾市総合支所で荒尾梨品評会を開催。梨農家44軒が自信作を出品し、梨の糖度・硬度・色・艶・形など品質を競いました。厳正な審査の結果、最優秀賞「優等」には西嶋 修作さん(孤屋)、ジャンボ賞に大倉 望さん(孤屋)が選ばれました。ゆめタウンシティモールで梨の販売会も開催し、多くの人でにぎわいました。



各賞の審査を行っている様子。

6/25 野原八幡宮で御田植祭を開催 有明高校の生徒も参加

かすりの着物に菅笠姿の「早乙女」や同宮の法被をまとった「田男」が唄に合わせて境内にある神田で田植えを行い、五穀豊穡を祈願しました。新型コロナウイルスの影響で令和2年から令和4年まで中止され、宮総代による米作りのみが行われていたため、4年ぶりの開催となりました。今年は、同宮から有明高校に呼びかけ、2年生15人が参加しました。神田で収穫された米は正月の参拝客に配られます。



9/21 荒尾市金婚夫婦表彰式を開催 結婚50年を迎えた39組を祝う

荒尾市金婚夫婦表彰式を熊本日日新聞社と共催で文化センターで開催しました。浅田市長と熊本日日新聞社の岩瀬事業局長から代表夫婦に表彰状が贈られました。金婚夫婦受賞者を代表して前畑 淳治さんが「この50年の歳月を振り返ると山あり谷ありのときもありました。恵まれた人生を歩んでこられたのは家族や周囲の支えがあったから。これからはお互い健康に留意して毎日を過ごしていきたい」と述べました。



地域の活動掲示板

荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

ポッチャ大会



SDGs.3 9/17 すべての人に健康と福祉を 桜山地区協議会

桜山地区協議会では、荒尾市スポーツ推進委員協議会の協賛を得て、ポッチャ大会を開催。ポッチャは赤青いずれかのボールを投げ、ジャックボールという白いボールに近づけ、得点を競うスポーツです。当日は地域住民40人以上の幅広い年齢層の人が参加し、スポーツを通じた多世代交流を楽しみました。

玉ねぎ種まき



SDGs.15 9/10 陸の豊かさを守ろう 清里地区協議会

清里地区協議会が毎年取り組んでいる「玉ねぎ苗販売」に向けて、「玉ねぎの種まき作業」が行われました。種から育てた苗は地域住民向けに販売されており、手頃な価格で売られることから多くの人に喜ばれています。また、清里地区の遊休農地の活用にもつながっています。

8/22・23 岱志高校で中高生が共に学ぶ アーティスト・ワークショップ開催

熊本市在住の画家、寺園 大誠さんを講師に招き、アーティスト・ワークショップを開催しました。中高生のペアが異なる感情の表情を持った顔を粘土で別々に制作し合体。その後、左右で表情の違う、多面性が表現された顔を色で表現していきました。寺園さんは「個人では表現しきれない新しいものが生まれ感動しました。感じたままを絵にする生徒の感性が素晴らしかった」と話し、中高生も貴重な体験ができました。



8/29 岱志高校美術部が 馬像ペインティングに挑戦!

市の馬事文化の名残を受け継ぎ旧荒尾競馬場跡地で営業を行うBAOO荒尾では、施設の新しいモニュメントとして等身大の馬像を設置するにあたり、そのデザインとペインティングを岱志高校に依頼しました。1年生美術部員が一丸となって有明海の干潟をモチーフに描き、見事な馬像が完成。この馬像は、ゆめタウンシティモールでの展示を経て、11月15日まで市役所2階で展示し、その後BAOO荒尾に展示されます。





## 特別会計

特定の収入で特定の事業を行うため、一般会計と区別している会計です。すべて黒字となっていますが、後期高齢者医療特別会計は、令和5年4月と5月に収納した令和4年度分の保険料で、翌年度に運営主体に全額を精算納付するため、実質的な収支は0となります。

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険	72億74万円	70億9,740万円	1億334万円
介護保険 (保険事業勘定)	56億1,747万円	54億5,501万円	1億6,246万円
介護保険 (介護サービス 事業勘定)	2,163万円	2,163万円	—
後期高齢者 医療	8億8,191万円	8億7,036万円	1,155万円
南新地土地 区画整理事業	13億9,293万円	13億3,966万円	5,327万円

## 企業会計

市が経営する公営企業で、民間企業のように使用料などにより事業を行う会計です。各事業の資本的収支の差引不足額は、損益勘定留保資金などで補填しました。

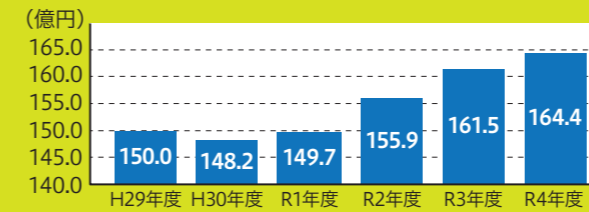
水道事業	歳入決算額	歳出決算額	差引額
収益的収支	10億1,943万円	10億2,144万円	-201万円
資本的収支	5億6,988万円	9億731万円	-3億3,743万円

下水道事業	歳入決算額	歳出決算額	差引額
収益的収支	13億763万円	12億3,729万円	7,034万円
資本的収支	7億8,338万円	12億3,036万円	-4億4,698万円

病院事業	歳入決算額	歳出決算額	差引額
収益的収支	74億4,697万円	71億2,589万円	3億2,108万円
資本的収支	55億8,160万円	58億4,853万円	-2億6,693万円

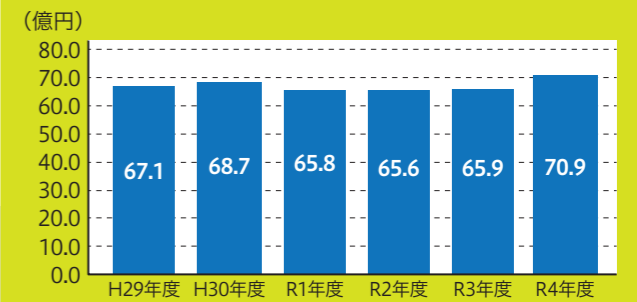
## 市債残高の推移

自治体の借金を地方債といい、中でも市が発行するものを市債といいます。公共施設の整備や公営企業など法律に定められた事業のための財源です。令和4年度は、放課後児童クラブ施設整備や新学校給食センター整備推進等のための借り入れを行いました。地方債の元利償還金という形で将来の市民の負担になるので、借り入れには十分気をつけています。市民一人当たり直すと32万6千円程になります。



## 積立基金現在高の推移

自治体の貯金のことで、災害復旧など臨時の支出や経済事情の変動で収入(歳入)が足りないときに取り崩します。市民一人当たり直すと14万1千円程になります。個人・団体・事業者からいただいた寄付金をもとに、子どもたちの未来につながる事業に取り組むため、「荒尾子ども未来基金」に約1億5千万円を積み立てました。



## 令和4年度

# 荒尾市の決算

決算とは4月から翌年3月までを一区切りとして、市にどのくらいの収入があつて(歳入)、そのお金をどのように使ったのか(歳出)をまとめた家計簿です。

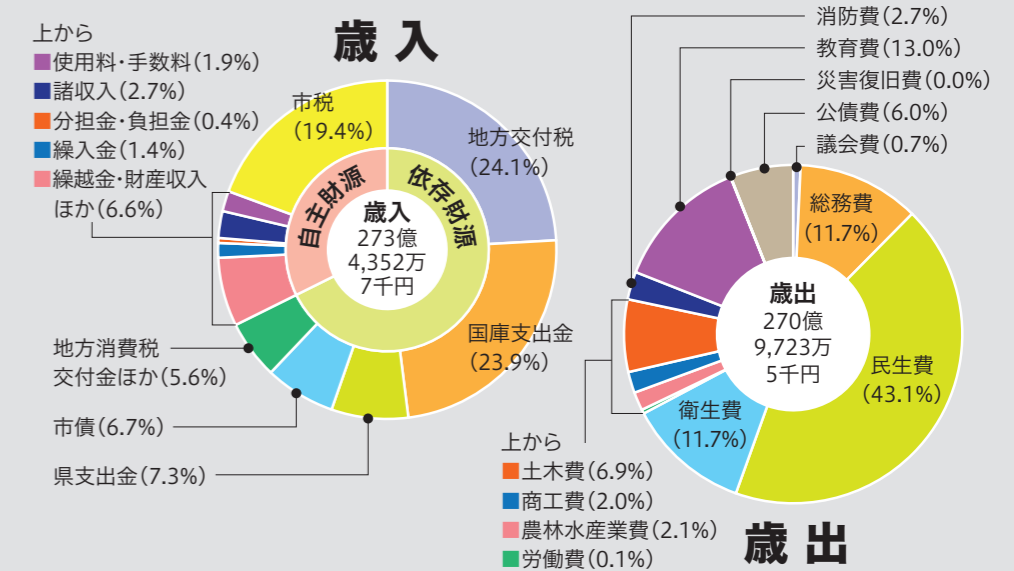
## 一般会計の収支状況

一般会計の決算額は、歳入が273億4,353万円(対前年度比3.6%減)、歳出が270億9,724万円(対前年度比2.3%減)で、差し引き2億4,629万円の黒字になりました。

そのうち令和5年度に繰り越して行う事業の費用6,776万円を除いた1億7,853万円が実質的な黒字になります。

## 決算状況

歳入のうち、自主財源(市が自主的に収入できるお金)は88億3,947万円で32.3%、依存財源(国や県によって額が決められ、交付されたり割り当てられたりするお金)は185億405万円67.7%となりました。こうした財源を活用し、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰に対する取組、新学校給食センターの開設(令和4年9月から稼働)などを実施しました。



## 健全化判断比率

実質赤字比率・連結実質赤字比率は、実質赤字が生じていないので値はありません。実質公債費比率・将来負担比率は早期健全化基準を十分下回っています。令和4年度の荒尾市の財政はおおむね健全な状態といえます。

指標	解説	荒尾市	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の程度を指標化し、単年度の財政運営の悪化の度合いを示す比率	—	13.02%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字や黒字を合計し、市全体としての赤字の程度を指標化し、単年度の財政運営の悪化の度合いを示す比率	—	18.02%
実質公債費比率	一般会計の公債費(借金の返済額)だけでなく、公営企業会計などの公債費に充てるための繰出金や一部事務組合の公債費に対する負担金なども含めた実質的な公債費負担を指標化した比率(数値は3年間の平均値)	9.5%	25.0%
将来負担比率	市債の償還額や将来支払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化したもの。(数値が大きくなるほど、将来見込まれる負担が大きいのを示す)	53.4%	350.0%

## 令和4年度の実績

令和4年度は主に次のような事業に使いました。

主な事業	決算額	主な事業	決算額
■ 広報戦略事業費(広報誌の作成・発行、市公式LINEの機能拡張など)	2,803万円	■ 新規就農支援事業費	446万円
■ 地域公共交通活性化事業費(公共交通による通学支援など)	9,721万円	■ プレミアム付商品券発行支援事業費	1億547万円
■ 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費	4億426万円	■ 炭鉱電車保存整備事業費	4,038万円
■ 子ども医療費助成事業費	2億124万円	■ 災害対策費(災害情報伝達システムの運用など)	1,023万円
■ 生活保護費	15億3,296万円	■ 小・中学校施設長寿命化改修事業費(清里小・海陽中外壁改修屋上防水工事など)	1億6,976万円
■ 地球温暖化対策事業費(太陽光発電システム等設置補助金など)	839万円	■ 給食センター整備推進事業費	14億9,785万円

# 市職員の職員数・給与等の状況を公表します

人事行政の透明性と公平性を高めるため、「荒尾市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき公表します。

問 総務課 人事厚生係 ☎63-1204 ✉somu@city.arao.lg.jp

## 1. 職員の任免及び職員数に関する状況

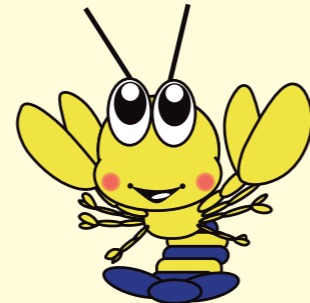
### (1) 職員数に関する状況

令和4年4月1日 現在の職員数 A	異動(令和4年4月2日～令和5年4月1日) 退職 B	採用 C	令和5年4月1日 現在の職員数 A-B+C
827	73	70	824

※「退職」は令和4年4月1日～令和5年3月31日、「採用」は令和4年4月2日～令和5年4月1日までの数を計上しています。

### (2) 職員採用の状況

区分		令和4年4月2日～令和5年4月1日	令和3年4月2日～令和4年4月1日	増減		
市役所	正規の試験 一般事務	大学卒	5	4	1	
		高校卒	3	2	1	
	土木	1	0	1		
	保健師	1	2	△1		
	教育審議員・指導主事	1	1	0		
	任期付(保育士・危機管理監等)	6	4	2		
	再任用職員(更新を除く)	2	3	△1		
	関係機関派遣受入職員	0	1	△1		
	市立有明医療センター	正規の試験	薬剤師	0	2	△2
			臨床検査技師	1	0	1
看護師		24	21	3		
准看護師		1	0	1		
助産師		1	1	0		
管理栄養士		0	1	△1		
言語聴覚士		0	1	△1		
介護福祉士		5	0	5		
理学療法士		2	0	2		
歯科衛生士		2	0	2		
事務職	1	0	1			
その他	医師	13	14	△1		
任期付(医師・放射線技師・事務等)	0	1	△1			
再任用職員(更新を除く)	1	3	△2			
合計	70	61	9			



荒尾市マスコットキャラクター「マジジャッキー」

### (3) 退職者の状況(令和4年度)

区分	退職者数
定年退職	7(4)
応募認定退職(定年前早期)	2(0)
普通退職(自己都合)	48(41)
その他	16(4)
合計	73(49)

※退職者数の( )は、市立有明医療センターの退職者数を内数表記しています。  
※その他の退職事由は任期付・再任用職員の任期終了などです。

### (4) 部門別職員数の状況(各年度4月1日現在)

区分	職員数		増減	主な増減理由	
	令和5年度	令和4年度			
一般行政	議会	5	5	0	
	総務・企画	104	106	△2	広報統計部署の統合など
	税務	30	31	△1	債権管理一元化体制整備後の減少
	民生	66	66	0	
	衛生	52	48	4	ゼロカーボン推進強化など
	農林水産	15	16	△1	任期付職員から会計年度任用職員への変更
	商工	15	16	△1	道の駅整備推進の進捗による減少
	土木	34	35	△1	公共施設総合管理業務の民間委託
小計	321	323	△2		
特別行政	教育	29	32	△3	新学校給食センター完成に伴う整備体制終了
公営企業等	病院	422	420	2	医療職各職種の欠員補充と採用人数増
	水道	6	6	0	
	下水道	11	11	0	
	その他	35	35	0	
	小計	474	472	2	
合計	824	827	△3		

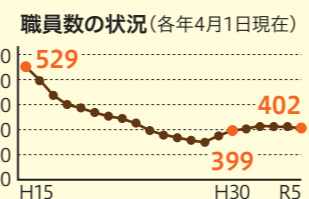
### (5) 職務上の地位別職員数(一般行政職の各年度4月1日現在)

区分	令和5年度		令和4年度		増減	
	職員数	うち女性	職員数	うち女性	職員数	うち女性
部長級	5	0	5	0	0	0
部次長級	2	0	3	1	△1	△1
課長級	24	4	22	2	2	2
課長補佐級	28	6	26	6	2	0
係長級	92	27	96	26	△4	1
その他の職員	185	88	188	87	△3	1
合計	336	125	340	122	△4	3

※一般行政職とは、税務職、福祉職、技能労務職、企業職などを除いた職種です。そのため、業務内容で区分している(4)の「一般行政」部門の職員数と一致するものではありません。

### (6) 職員定員管理計画

総職員数の増加を抑制しつつ、効率的な組織運営を図るため、「職員定員管理計画(市立有明医療センター職員を除く)」を策定しています。平成15年度の職員数529人に対して、行財政改革により職員数を削減し、平成30年度の職員数399人を基本としながら、一時的な要因による増加にも考慮しつつ、新規事業や多様化する市民サービスへの対応に取り組んでいます。



## 2. 職員の給与の状況

### (1) 給与費の状況(普通会計決算額)

区分	職員数 A	給与費				1人当たり 給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
令和4年度	345人	11億9,494万5千円	1億7,083万円	4億6,986万3千円	18億3,563万8千円	532万1千円

### (2) 平均給料月額・平均年齢等の状況(令和5年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	300,342円	373,367円	41.7歳

※平均給与月額は、給料に扶養手当・時間外勤務手当などの諸手当(期末・勤勉手当除く)を加えたものです。

### (3) 初任給の状況(令和5年4月1日現在)

区分	荒尾市		国
	決定初任給	決定初任給	決定初任給
一般行政職	大学卒	185,200円	同じ
	高校卒	154,600円	

### (4) 経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(令和5年4月1日現在)

区分	経験年数10年			経験年数15年			経験年数20年		
	大学卒	平均給料月額	平均給与月額	大学卒	平均給料月額	平均給与月額	大学卒	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	大学卒	255,133円	329,833円	291,833円	342,217円				
	高校卒	219,200円	256,800円	277,733円					

※卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数が経験年数となります。

### (5) 一般行政職の級別職員数の状況(令和5年4月1日現在)

※再任用職員と任期付職員は除きます。

職務内容	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
	主事技師	主事技師	係長主査 参事副主任	課長補佐 係長主査 参事	課長 課長補佐	部長 部次長 課長	部長	
職員数(人)	22	38	148	56	30	18	5	317
構成比(%)	6.9	12.0	46.7	17.7	9.5	5.7	1.6	100

### (6) 手当の状況(令和4年度)

※( )内は、特定幹部職員(7級部長)

区分	荒尾市			国
	期	期末手当	勤勉手当	
期末手当 勤勉手当 (月分)	6月期	1.20(1.00)	0.95(1.15)	同じ
	12月期	1.20(1.00)	1.05(1.25)	
	計	2.40(2.00)	2.00(2.40)	
	扶養手当(月額)	配偶者 6,500円 子 10,000円 父母等 6,500円		
通勤手当(月額)	交通機関利用は定期券代、自動車等利用は距離に応じて2,000円～31,600円を支給			同じ
住居手当(月額)	借家の場合、家賃に応じて28,000円を限度に支給			同じ
特殊勤務手当(月額)	市税事務従事手当 3,000円が3,500円 福祉事務調査手当 4,500円 ほか			種類が異なる

### (7) 退職手当の状況(令和4年度)

(月分)

	荒尾市		国	
	自己都合	応募認定・定年	自己都合	応募認定・定年
支給率				
勤続20年	19.6695	24.586875	同じ	
勤続25年	28.0395	33.27075		
勤続35年	39.7575	47.709		
最高限度額	47.709	47.709		
その他の加算措置	なし	定年前早期退職特例措置 (2%～45%加算)	同じ	
退職時特別昇給	なし	なし	なし	
平均支給額	313万9千円	2,046万2千円		